





史實調査參考資料報告

摘要

所屬部隊  
(固有名称)

歩兵第三聯隊

職官

小隊長陸軍中尉

全右所在地

神津縣宮古島

氏名

[Redacted Name]

終戦時ノモノヲ  
記ス

支那事變以降ニ  
於ケル自己ノ略  
歴

昭和十七年三月二十八日、歩兵第三聯隊に轉属、海防隊地方警備  
昭和十八年三月二十八日、揚子江方面に轉属、海防隊地方警備  
昭和十九年七月一日、歩兵第三聯隊に轉属、海防隊地方警備  
昭和十九年八月一日、宮古島に着、二十一年八月二十日、陸軍中尉  
として作戦に参加、終戦に到ル

職ノ變更及主ナル  
参加戦闘名ヲ  
記ス

所在部隊ノ編成  
年月日及編制裝  
備ノ概要

皇軍第六師團、昭和十九年七月二十七日、神津縣宮古島

所屬部隊作戦經  
過ノ概要

歩兵第三聯隊、神津縣宮古島、海防隊

最後ノ所屬部隊  
ヲ主ニシ向ソノ  
以前ノ所屬部隊  
ノ分ヲモ概記ス

終戦(又ハ主力  
ノ戦闘終了)  
後ノ概況

終戦後、歩兵第三聯隊に在り、神津縣宮古島に在り、海防隊として  
活動、二十一年八月二十日、陸軍中尉として作戦に参加、終戦に到ル

歸還輸送ノ状況  
ヲモ併記ス

先  
歸郷(又ハ連絡)

[Redacted]

其ノ他ノ參考事  
項

神津縣宮古島に在り、金銭等一切没収

備考

將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス

史實調査參考資料報告

步兵第三聯隊

沖繩縣宮古島

職官 陸軍大尉

本中 72

終戦時ノモノヲ  
記ス

所屬部隊  
(固有名)

氏名

職官

全右所在地

支那事變以降ニ  
於ケル自己ノ略  
歴

昭和十五年八月十九日、河南十月二十七日、外長城線並張家口會戰ニ參加。昭和十五年十月五日、至同月十七日、包頭戰ニ參加。昭和十五年十月二十二日、至昭和十九年六月三十日、北安、哈爾濱、綏化、黑河省、瑷琿、海拉爾、等ニ滿洲勤務ニ從事。昭和十九年六月三十日、編成下令。同三十一日、完結。同八月五日、鹿兒島出帆。同八月十二日、宮古島上陸。同八月十五日、宮古島警備隊終戦ニ至ス。昭和十九年八月十九日、河南十月二十七日、外長城線並張家口會戰ニ參加。昭和十九年八月十九日、河南十月二十七日、外長城線並張家口會戰ニ參加。昭和十九年八月十九日、河南十月二十七日、外長城線並張家口會戰ニ參加。

豊五十六部隊 昭和十九年六月十七日 常時編成

所在部隊ノ編成  
年月日及編制裝  
備ノ概要

所屬部隊作戰經  
過ノ概要

宮古島警備隊

最後ノ所屬部隊  
ヲ主ニシ向ソノ  
以前ノ所屬部隊  
ノ分ヲモ概記ス

終戦(又ハ主力  
ノ戦鬪終了)  
後ノ概況

終戦後、警備隊及島警備隊本連

歸還輸送ノ狀況  
ヲモ併記ス

先  
歸郷(又ハ連絡)

其ノ他ノ參考事  
項

備  
考

將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス

史實調査參考資料報告

摘要

所屬部隊  
(固有名称)

歩兵第三聯隊

職官

小隊長陸軍中尉

終戦時ノモノヲ  
記ス

全右所在地

沖繩縣宮古島

氏名

[Redacted Name]

支那事變以降ニ  
於ケル自己ノ略  
歴

昭和十七年十月十日滿洲軍第六師團東部十六部隊入隊  
自昭和十七年十月十日  
至昭和十八年四月九日 前橋陸軍中隊士官學校  
昭和十八年十月十日 任陸軍少尉 補歩兵第三師團附  
昭和十九年七月十日 歩兵第三師團二轉任  
昭和十九年八月十日 宮古島到着 天皇作戦ニ参加シ戦利ノ

職ノ變更及主ナル  
参加戦闘名ヲ  
記ス

所在部隊ノ編成  
年月日及編制裝  
備ノ概要

一 歩兵第三聯隊編成ノ旨 昭和十九年六月二日  
二 編成裝備ノ概要  
歩三 騎一砲一工一輸一  
三 騎一衛一兵部一作一  
四 騎一歩三砲二中(天)區住一平  
五 砲一連一作中(中)

所屬部隊作戦經  
過ノ概要

豊後隊昭和一九六三沖繩縣宮古島上陸同日ヨリ  
同島守備隊隊員ニ至ル

最後ノ所屬部隊  
ヲ主ニシ向ソノ  
以前ノ所屬部隊  
ノ分ヲモ概記ス

終戦(又ハ主力  
ノ戦闘終了)  
後ノ概況

一 終戦後 宮古島守備隊  
昭和二十年十二月二十一日 米軍 掃部隊 掃部隊  
二 歩三 那霸收容所 收容セラル  
三 昭和二十年三月二十五日 那霸朝敵 同日三十七日 浦賢上陸  
歸還輸送ノ狀況

歸郷(又ハ連絡)  
先

其ノ他ノ参考事  
項

那霸收容所ニ在リ 全線 服裝等一切及収  
セラル

備考

將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス



史實調査參考資料報告

摘要

所屬(固有名)部隊

歩兵第三聯隊

職官

陸軍少尉

終戦時ノモノヲ記ス

全右所在地

神尾縣宇治島

氏名

[Redacted Name]

支那事變以降ニ於ケル自己ノ略歴

昭和十七年一月十日歩兵第三聯隊ニ入隊  
昭和二十年三月三日陸軍少尉ニ任官  
昭和二十年三月三日天一号作戦ニ参加  
昭和二十年三月二十七日浦賀着

職ノ變更及主ナル参加戦闘名ヲ記ス

所在部隊ノ編成年月日及編制裝備ノ概要

歩兵第三聯隊 四九八、一一、中絶島古島大陸  
四月一日同島着陣 終戦時在隊  
二、豊田隊 編成下令 四九八、六、七  
三、編成裝備ノ概要

所屬部隊作戦經過ノ概要

宇治島着陣

最後ノ所屬部隊ヲ主ニシテ以前ノ所屬部隊ノ分ヲモ概記ス

終戦(又ハ主力ノ戦闘終了)後ノ概況

昭和二十年三月三日浦賀到着  
昭和二十年三月二十七日浦賀到着

歸還輸送ノ状況ヲモ併記ス

先歸郷(又ハ連絡)

[Redacted]

其ノ他ノ参考事項

備考

將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス

史實調査參考資料報告

摘要

所屬部隊 (固有名称) 歩兵第三聯隊 沖繩縣 宮古島	職官 中隊附 陸軍少尉 [Redacted] 中	終戦時ノモノヲ 記ス	職ノ變更及主ナル 參加戦闘名ヲ 記ス	支那事變以降ニ 於ケル自己ノ略 歴	昭和十七年十二月十日 歩兵第三聯隊ニ入營 昭和二十年一月十日 任陸軍少尉 天一号作戦ニ參加	職ノ變更及主ナル 參加戦闘名ヲ 記ス	所在部隊ノ編成 年月日及編制裝 備ノ概要	最後ノ所屬部隊 ヲ主ニシ向ソノ 以前ノ所屬部隊 ノ分ヲモ概記ス	所屬部隊作戦經 過ノ概要	終戦(又ハ主力 ノ戦闘終了) 後ノ概況 終戦後自任三專念 昭和二十年十二月廿四日 沖繩本島ニ到着 昭和二十一年三月廿四日 同島出立浦賀ニ到着	歸還輸送ノ状況 ヲモ併記ス	歸郷(又ハ連絡) 先	[Redacted]	歸郷(又ハ連絡) 先	其ノ他ノ參考事 項	將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス	備考
-------------------------------------	-----------------------------------	---------------	--------------------------	-------------------------	---	--------------------------	----------------------------	--	-----------------	---	------------------	---------------	------------	---------------	--------------	----------------------	----

史實調査參考資料報告

摘要

所屬部隊  
(固有名稱)

職官

終戦時ノモノヲ  
記ス

全右所在地

氏名

職ノ變更及主ナル  
參加戰鬪名ヲ  
記ス

支那事變以降ニ  
於ケル自己ノ略  
歴

昭和二十一年一月十日  
陸軍少尉  
天一等作戦少佐

所在部隊ノ編成  
年月日及編制裝  
備ノ概要

所屬部隊作戰經  
過ノ概要

最後ノ所屬部隊  
ヲ主ニシ向ソノ  
以前ノ所屬部隊  
ノ分ヲモ概記ス

終戦(又ハ主力  
ノ戦鬪終了)  
後ノ概況

終戦後、白河、海防、  
昭和二十一年十一月廿四日、  
昭和二十一年十二月二十三日、  
昭和二十一年三月五日、  
沖繩本島、  
沖繩本島、  
沖繩本島、  
中野、  
中野、  
中野、

歸還輸送ノ状況  
ヲモ併記ス

先  
歸郷(又ハ連絡)

其ノ他ノ參考事  
項

備考

將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス



史實調査參考資料報告

摘要

所屬部隊 (固有名) 步兵第三聯隊 小隊長 陸軍中尉 8F

終戦時ノモノヲ 記ス

全右所在地 冲繩縣宮古島 氏名

支那事變以降ニ 於ケル自己ノ略 歴 支那事變(河北省察哈爾南山西省作戦参加) 介隊長

(北滿警備(奉天)) (ハルビン) 中队长

(ハルビン) 中队长 内務掛

北滿警備(奉天) 中队长

大東亞戦争(北滿警備(奉天)) 中队长

支那事變(河北省察哈爾南山西省作戦参加) 介隊長

所在部隊ノ編成 年月日及編制裝 備ノ概要 一豊部隊編成下令 昭和九、六、二七

所屬部隊作戦經 過ノ概要 一豊部隊 昭和九、六、二七 冲繩縣宮古島上陸同日ヨリ 同島守備隊ヲ任ゼル

一 昭和九、四、二二 海防滿洲事變参加、昭和九、三、三三 帰還

二 昭和九、二、二五 海防北滿警備、昭和一三、七、二八 河北省山西省下駐、モロコシ事件、張鼓峯陽郭 小隊

終戦(又ハ主力ノ戦闘終了) 後ノ概況 一 終戦時冲繩縣宮古島守備

二 昭和二、一、二二 米軍中隊一カニ移シ冲繩島 米軍収容所ニ収容ス

三 昭和二、一、三三 冲繩島表、四月二七 沖宮上陸

先 歸郷(又ハ連絡)

其ノ他ノ參考事 項 冲繩収容所ヲ移シ眼鏡ヲ没収ス

備 考 將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス

歸還輸送ノ状況ヲモ併記ス

最後ノ所屬部隊ヲ主ニシ向ソノ以前ノ所屬部隊ノ分ヲモ概記ス

職ノ變更及主ナル参加戦闘名ヲ記ス

史實調査參考資料報告

摘要

所屬部隊 (固有名)

步兵第三聯隊

職官

小隊長

10件

終戦時ノモノヲ記ス

全右所在地

沖繩縣 宮古島

氏名

[Redacted Name]

支那事變以降ニ

於ケル自己ノ略

昭和三十二年八月二日  
陸軍中尉進級

昭和三十二年一月十日滿洲第九師團司令部支隊長  
昭和三十二年四月十日滿洲第九師團司令部支隊長  
昭和三十二年五月十日滿洲第九師團司令部支隊長  
昭和三十二年六月十日滿洲第九師團司令部支隊長  
昭和三十二年七月十日滿洲第九師團司令部支隊長  
昭和三十二年八月十日滿洲第九師團司令部支隊長  
昭和三十二年九月十日滿洲第九師團司令部支隊長  
昭和三十二年十月十日滿洲第九師團司令部支隊長  
昭和三十二年十一月十日滿洲第九師團司令部支隊長  
昭和三十二年十二月十日滿洲第九師團司令部支隊長  
昭和三十二年一月十日滿洲第九師團司令部支隊長  
昭和三十二年二月十日滿洲第九師團司令部支隊長  
昭和三十二年三月十日滿洲第九師團司令部支隊長  
昭和三十二年四月十日滿洲第九師團司令部支隊長  
昭和三十二年五月十日滿洲第九師團司令部支隊長  
昭和三十二年六月十日滿洲第九師團司令部支隊長  
昭和三十二年七月十日滿洲第九師團司令部支隊長  
昭和三十二年八月十日滿洲第九師團司令部支隊長  
昭和三十二年九月十日滿洲第九師團司令部支隊長  
昭和三十二年十月十日滿洲第九師團司令部支隊長  
昭和三十二年十一月十日滿洲第九師團司令部支隊長  
昭和三十二年十二月十日滿洲第九師團司令部支隊長

所在部隊ノ編成

年月日及編制

備ノ概要

豐部隊編成下令 昭和三十九年六月廿七日  
師團 歩二騎一砲一工一輜一  
製 刺毒一待一兵動一  
山 聯隊 歩三大砲三中 通一

所屬部隊作戦經過ノ概要

由豆部隊 昭和三十九年八月十二日沖繩縣宮古島上陸  
同島準備 台渡沖海戦ニ参加  
天一號作戦ニ参加  
終戦ニ至ル

最後ノ所屬部隊ヲ主ニ向ソノ以前ノ所屬部隊ノ分ヲモ概記ス

終戦(又ハ主力ノ戦闘終了)後ノ概況

終戦後、作戦地ニ在リテ全員健身復員ヲ目途トシテ、  
向テ、夕メ自治作業ニ専ラシム。  
昭和三十二年十二月二十日復員シ、宮古島ニ出發(米糧)  
昭和三十二年十二月二十四日沖繩本島到着。  
昭和三十二年三月二十四日沖繩本島出發。  
昭和三十二年三月二十七日内地浦賢達ニ到着。  
昭和三十二年三月二十七日内地浦賢達ニ到着。

歸還輸送ノ狀況ヲモ併記ス

先 歸郷(又ハ連絡)

[Redacted]

其ノ他ノ參考事項

沖繩本島收容所ニ於テ金錢、寫真機、眼鏡ヲ受領證書ニ記載セラレ。(米軍憲兵ニ依リ)

備考

將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス

史實調査參考資料報告

摘要

所屬(部隊)  
(固有姓名)

歩兵第三聯隊

職官

陸軍口政面大尉

終戦時ノモノヲ  
記ス

全右所在地

沖繩縣宮古島

氏名

[Redacted Name]

支那事變以降ニ  
於ケル自己ノ略  
歴

一昭二四二二高田歩三。函守隊臨時召集。一昭二四四二。宮古島陸軍連。一昭二四七二。軍医中尉(歩兵附)。一昭二四八四。佐藤。一昭二四八九。一六。一モ二二。事變  
参加。一昭二五二二。軍医中尉。昭二八。一五。三。附。昭一九。一五。軍連大尉。  
一昭二九八。二。一。二。二。二。宮古島陸軍連大尉

職ノ變更及主ナル  
参加戦闘名ヲ  
記ス

所在部隊ノ編成  
年月日及編制裝  
備ノ概要

豊島編成下令 昭一九。六。三。  
歩兵聯隊

所屬部隊作戦経  
過ノ概要

一昭一九八。三。宮古島上陸

最後ノ所屬部隊  
ヲ主ニシ向ソノ  
以前ノ所屬部隊  
ノ分ヲモ概記ス

終戦(又ハ主力  
ノ戦闘終了)  
後ノ概況

兵保育。陸瘡。自治作業。専念  
昭二〇。一。二。二。宮古島出立  
昭二〇。一。三。三。沖繩県。同。野。屋。裏。到着  
昭二一。三。三。三。同。右。出。立  
昭二一。三。三。三。浦。加。到。着

歸還輸送ノ状況  
ヲモ併記ス

先  
歸郷(又ハ連絡)

[Redacted]

其ノ他ノ参考事  
項

沖波收容所。於。一。金。銭。等。一。而。没。收。セ。ラ。レ

備考

將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス

史實調査參考資料報告

摘要

所屬部隊  
(固有名称)

歩兵第三聯隊

職官

第二歩兵砲小隊長  
陸軍少尉

終戦時ノモノヲ  
記ス

全右所在地

沖繩縣宮古島

氏名

[Redacted Name]

職ノ變更及主ナル  
参加戦闘名ヲ  
記ス

支那事變以降ニ  
於ケル自己ノ略  
歴

昭和十七・一・十一 歩兵第一聯隊入隊  
四・十二 満洲軍河省孫其当着 同地附近警備  
十九・五・一 見習士官  
七・一 歩兵第三聯隊轉展 才三兵砲小隊長  
八・十二 沖繩縣宮古島到着 同地警備 才三作戦参加  
二十・三・二十五 陸軍少尉  
二十・三・二十六 宮古島赴任 沖繩本島移轉

所在部隊ノ編成  
年月日及編制裝  
備ノ概要

一 豊部隊編成下今 昭和十九・六・二十七  
二 縮成裝備概要  
① 師團 歩三 師一 砲三 工一 砲一  
② 師團 歩三 師一 砲三 工一 砲一  
③ 師團 歩三 師一 砲三 工一 砲一  
④ 師團 歩三 師一 砲三 工一 砲一

所屬部隊作戦經  
過ノ概要

一 豊部隊 昭和十九・六・二十七 沖繩縣宮古島上陸 同島守備  
終戦ニ到リ  
二 昭和十七・四・五 渡滿(里河省孫其) 同地警備

最後ノ所屬部隊  
ヲ主ニシ向ソノ  
以前ノ所屬部隊  
ノ分ヲモ概記ス

終戦(又ハ主力  
ノ戦闘終了)  
後ノ概況

一 沖繩縣宮古島守備  
昭和二十・三・三 米軍指名將校トシテ 米船ゲル号ヨリ  
宮古島出発  
同 十二・二十四 米軍收容所ニ收容セラレ  
二 同 二十・三・二十三 沖繩出発  
同 二十七 浦賀上陸

歸還輸送ノ状況  
ヲモ併記ス

先  
歸郷(又ハ連絡)

[Redacted]

其ノ他ノ參考事  
項

沖繩收容所ニ於テ金錢等ヲ一切没収セリ

備  
考

將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス



史實調査參考資料報告

摘要

所屬部隊  
(固有名称)

浪兵第三聯隊

職官

第一大隊副官  
陸軍少尉

終戦時ノモノヲ  
記ス

全右所在地

沖繩縣宮古島

氏名

[Redacted Name]

職ノ變更及主ナル  
參加戰鬪名ヲ  
記ス

支那事變以降ニ  
於ケル自己ノ略  
歴

支那事變 (1) 河北省察哈爾省中戦隊 分隊長  
(2) 北滿警備 (4年) 副官  
(3) ノモンハン事件 大尉  
(4) 北滿警備  
二 大東亜戦争 (1) 北滿警備 (2) 官島警備 (3) 官島  
副官

所在部隊ノ編成  
年月日及編制裝  
備ノ概要

一 豊部隊編成下令 昭和十九・六・二七  
二 編制裝備ノ概要  
(1) 砲兵 歩二 騎一 砲(重)一 工一 輸一  
副官 併一 併一 兵動一  
(2) 騎隊 歩三大 砲二 中一 通一中

所屬部隊作戦經  
過ノ概要

一 豊部隊 昭和十九・八・二 沖繩縣宮古島上陸  
同島守備終戦ニ至ル

最後ノ所屬部隊  
ヲ主ニシ向ソノ  
以前ノ所屬部隊  
ノ分ヲモ概記ス

終戦(又ハ主力  
ノ戦鬪終了)  
後ノ概況

一 沖繩縣宮古島守備  
昭和十九・二・二 米軍指名將校トシテ米船ゲート  
早ニヨリ宮古島出発  
二 同日 十二・二十四 米軍收容所ニ收容セラレ  
三 同日 三・三 沖繩本島  
四 同日 三・二七 浦賢上陸

歸還輸送ノ状況  
ヲモ併記ス

歸郷(又ハ連絡)  
先

[Redacted]

其ノ他ノ參考事  
項

沖繩收容所ニ於テ金錢等ヲ無返設收  
セリ

備考

將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス



史實調査參考資料報告

摘要

所屬(固有名)

曹長第五六二〇部隊  
(步兵第三聯隊)

職官

陸軍中尉(召) 陸

終戦時ノモノヲ  
記ス

全右所在地

沖繩縣宮古島

氏名

[Redacted Name]

支那事變以降ニ於ケル自己ノ略歴

支那事變、河北省、察哈尔、山西省作戦参加

(北滿警備(奉天)大隊本部書記)

(滿洲警備(牡丹江)内務掛、小隊長)

大東亞戦争(1) 右(奉天)小隊長、大隊副官

(南滿洲官署支隊) 大隊副官

所在部隊ノ編成年月日及編制裝備ノ概要

一 豊田部隊、成立、昭和一九二七

二 編成、裝備ノ概要、(奉天) 第一師団、第一旅団、第一師団、第一旅団、第一師団、第一旅団

(1) 陸軍中尉、(2) 大東亞戦争(3) 通訳、(4) 陸軍中尉

所屬部隊作戦経過ノ概要

豊田部隊、(1) 豊田部隊、(2) 豊田部隊、(3) 豊田部隊、(4) 豊田部隊

最後ノ所屬部隊ヲ主ニシテ以前ノ所屬部隊ノ分ヲモテ概記ス

69

終戦(又ハ主力ノ戦闘終了)後ノ概況

終戦後、沖繩縣宮古島身振勤務

昭和二十一年三月二十八日、浦城上陸

歸還輸送ノ状況併記ス

先

歸郷(又ハ連絡)

[Redacted]

其ノ他ノ參考事項

沖繩軍管收管所、於て眼鏡等一切没収せらる。

備考

將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス

69